

各地区業況アンケート結果（2020年4月調査分）

（2020年4月28日）

全国鉄鋼販売業連合会

4月27日締切で、当会役員141名に対しこのアンケートを行ったところ75名の回答があり（回答率53.2%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※ $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、(数は回答実数)

1. 売上数量、前年同月比割れ66%

問1】貴社の3月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	3	7	15	17	32	74	82
比率	4%	10%	20%	23%	43%	DI-92	DI-95
売上金額/前年同月比	4	8	11	22	30	75	83
比率	5%	11%	15%	29%	40%	DI-88	DI-104

2. 赤字は3割強

問2】貴社の3月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか？（答）

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	10	17	24	14	10	75	83
比率	13%	23%	32%	19%	13%	DI+4	DI-28

3. 販売量は更に減少傾向へ

問3】貴社の営業窓口から見て4月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向		1	18	24	14	57	-89	-61
民間建設向		1	9	37	15	62	-106	-66
自動車向			2	16	16	34	-141	-71
その他需要家向			8	34	15	57	-112	-77
仲間取引			11	31	22	64	-117	-96
計		2	48	142	82	291	-111	-75
比率	0%	1%	17%	52%	30%			

4. 85%の企業が減少予測

問4】貴社における向う5月から7月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測		2	9	30	34	75	82
比率	0%	3%	12%	40%	45%	DI -128	DI -74

5. 全品種過剰気味傾向、特に薄板の過剰目立つ

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	品種別	A	B	C	D	E		4月
DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	DI
0	6	0	-7	-14	-28	-31	-27	-34	-9	-21	-25	-31	鉄筋用丸鋼			20	7	1	28	-32
0	-6	-3	-16	-18	-23	-29	-28	-25	-21	-29	-17	-27	構造用丸鋼			18	6	1	25	-32
3	-8	-8	-9	-18	-20	-10	-12	-6	-15	-12	-6	-17	平角鋼			24	6	1	31	-26
11	-8	-24	-22	-36	-29	-29	-18	-13	-6	-16	-30	-13	H形鋼			22	10		32	-31
57	25	12	4	-11	-15	-26	-11	-19	-22	-16	-28	-36	コラム			17	7		24	-29
-8	-3	-10	-14	-15	-16	-24	-16	-17	-22	-16	-17	-18	小形山形鋼		1	25	6		32	-16
-8	-15	-15	-16	-20	-23	-29	-21	-22	-29	-30	-24	-24	中形山形鋼			24	8		32	-25
-3	-13	-19	-17	-23	-21	-26	-29	-19	-26	-26	-20	-24	溝形鋼			22	8	1	31	-32
-9	-3	-12	-10	-13	-15	-34	-30	-31	-29	-26	-20	-24	軽量形鋼C形			23	5		28	-18
0	-12	-10	-5	-5	-11	-25	-16	-15	-18	-26	-15	-15	軽量形鋼広巾			15	3		18	-17
0	-21	-32	-34	-43	-58	-58	-53	-53	-47	-61	-58	-58	冷延薄板			9	13	2	24	-71
-3	-21	-28	-34	-55	-55	-50	-56	-60	-47	-55	-55	-56	熱延薄板			12	14	4	30	-73
-10	-32	-43	-45	-52	-53	-68	-59	-53	-52	-63	-68	-66	表面処理鋼板			9	13	3	25	-76
0	-25	-39	-38	-44	-51	-57	-53	-56	-58	-64	-65	-70	酸洗鋼板			8	15	4	27	-85
0	-13	-19	-33	-50	-48	-47	-51	-50	-48	-56	-51	-49	中板			17	19	3	39	-64
17	0	-10	-29	-50	-38	-45	-51	-49	-49	-49	-44	-63	厚板			18	19	3	40	-63
5	0	-13	-12	-32	-25	-20	-28	-22	-32	-29	-47	-50	極厚板			14	5		19	-26
0	0	0	-14	-19	-13	-29	-27	-21	-23	-25	-18	-20	縞板			19	9		28	-32
-10	-8	-18	-15	-30	-18	-31	-30	-28	-27	-28	-32	-30	中径角			20	10	1	31	-39
2	-8	-8	-13	-16	-10	-25	-15	-19	-5	-18	-20	-20	ガス管黒			25	8		33	-24
-5	-13	-19	-5	-17	-11	-22	-16	-17	-5	-17	-21	-20	構造用鋼管			24	9		33	-27
1	-9	-15	-19	-28	-28	-34	-31	-30	-28	-33	-32	-35	計	0	1	385	200	24	610	-40

6. 緊急事態宣言発令で更に今後の不安強まる

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交せて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	出荷数量、売上金額ともに減少が続いているが、新型コロナウイルスの影響は今のところ感じられない。学校が休みになり給食がなくなり牛乳がだぶついているとニュースになっている。酪農業界にダメージがなければよいのだが。
	B	3月中旬以降、形鋼の荷動きが急激に落ち込んだ。某電炉メーカーの4月売出し後、各特約店に若干の混乱があったが様子見となっている。しかしながら、現実には安値に引っ張られて下落基調である。
	C	現状、新型コロナウイルスの影響は限定的である。3月に関しては丸棒、他鋼材について受注あり。某高炉メーカーの売出価格低下に伴い全般的に安値である。
	D	出荷数量の減少、単価の下落が続いているが、新型コロナウイルスの影響は今のところ感じられない。小中学校の休校によって給食がなくなり、牛乳の需要が減っている。酪農業界に影響がなければよいが。
東北	A	全般的な景況は悪化、低迷していると強く感じられる。また、仕込み時期としての営業活動も新型コロナウイルスの影響で制限されており、先行きの不安感が強まる一方である。
	B	4月はともかくとして、5月以降の売上減少幅がどれだけ大きくなるのか心配でならない。新規借入れで凌ぐしかない。
	C	土木積算が増えてきたので、仕事はあると思われる。新型コロナウイルス次第である。
	D	価格下落傾向にあり、商談が少ない。新型コロナウイルスの影響で工事が遅れる可能性あり。
	E	新型コロナウイルスの影響で、テレワークを実施中。出張や営業活動を控えており、今後の売上が心配である。
新潟	A	1～3月は全般的に活況感がなかったが、4月以降、新潟にも新型コロナウイルスの影響が出てくると思われる。現実、一部のユーザーに出てきており先行き不透明である。
	B	新規物件の引合いも少なく、価格維持も難しく、むこう3ヶ月はかなり難しい状況になると予測している。
	C	機械メーカーは輸出ができない様子。また、部品がそろわず組立が滞っており、生産調整が出ている。この先、いつまで心配すればよいのだろうか。
	D	すべてが悪い。自動車、建機に比べれば地場関連はまだ動きがあるほうか。
	E	新型コロナウイルスの影響で全く先が見えない。感染拡大が収まるまでは、手の打ちようがない。社員が感染しないこと、社員の生活を守ることに全力を傾けている。
	F	自動車、産機、建機主体に新型コロナウイルスの影響で部品調達案や輸出減少で低調。4月以降、自動車は更に栄養拡大。建築は今のところ当初予定通り動いているが、今後、新型コロナウイルスの問題、五輪延期での影響が懸念される。
	G	コロナの話ばかりで、仕事の話がない中、建築関係はそれなりに動いているが先が見えない。引合いはようやく8～9月頃の物件の見積りが出始めたが量が少ない。まるで歌の「さざんかの宿」である。(曇りガラスを手で拭いて、あなた、明日が見えますかぁ！⇒まるで見えない)
神奈川	A	昨年秋以降からの需要減退に続き、コロナ禍に伴う世界経済の減速も重なり、更に緊急事態宣言の発令もあり、先行き更に不透明である。一部メーカーでは価格が下がるのも在庫調整中であり、案件が薄く申込みも少ない状況である。

神奈川	B	今年に入り、4～6月の需要予想は良くない話が主である。新型コロナウイルス感染がどのようになるのか、東京オリンピックが1年延期になり都心の案件がどうなるのか。県内も変わらず、厳しい需要動向が続くと予想される。
	C	工作機械向けの手配がほとんどない状況である。民間建設、公共建設向けの需要でなんとか稼働している状況である。
東京	A	4月に入り、パタリと電話が鳴らなくなった。「緊急事態宣言」発令後さらに止まっている。時短営業、交代勤務などで各社、人の動きを抑制しながらの操業が増えている。
	B	(鋼管) 3月需要減退はなかった。メーカーの売込みが強くなったが、リーマンショック時、市況がキロ30～40円下がったことを思い出し仕入ができない状況である。
	C	新型コロナウイルス感染拡大の影響は4月6日時点で、まだ出ていないが、いずれ販売量はおろか自社生産にも影響が出てくるのではとの思いを持っている。訪問、商談するような営業活動を自粛しており、先が全く見通せない不安でいっぱいである。さらに緊急事態宣言発令された今後はどうなるのか。
	D	(鋼管) 日割出荷量は、リーマンショック後以上の水準となった。対面営業や打合せができず、ほぼすべてが停止状態にある。
	E	「緊急事態宣言」発令に伴う勤務時間の短縮、休業を実施したが、まだ政府要請値には未達。売上は4月に入り25%減。自動車向けは設備だけがわずかに動く。建築も先行き現場事務所の閉所などから動きが一段と悪くなるだろう。完全な感染予防策を切に望む。
	F	これから本格的に新型コロナウイルスの影響が需要において出てくると思われる。在庫を減らして身軽にしておかないと経営もままならない。
静岡	A	コロナ禍による影響は顕著に表れていないがムードは最悪である。新会計年度を迎え、前期に達成できなかった「オン・ユア・マーク…ゴー」でやる気満々だが、価格対応のみならず、鋼材需要案件すら辿りつかない。着手したい物件の仕様変更により1～2ヶ月振り回されることも多々ある。地域限定の鋼管杭物件も多工法に構造変更、柱状改良にて建設費を下げ、施主要望に応じるなど国交省指針に疑問がある。隣大国の某重工業の中心都市から始まった感染の脅威にいつまで晒されるのか。実態にエンカウンターしないとわからない。コロナ禍による鉄鋼業界の債権債務事件発生はどうか。
	B	H、Mクラスの建築関連を中心に手当てを済ませた案件は予定通り進捗している状況。中小案件の物件は少なくRクラス以下は苦戦している。見積り件数も徐々に減少傾向で延期案件も出始め先行きの不安は大きい。生産ライン関連の設備工事は、6月頃まで予定通りだが、内装系は資材の入手難で着工が遅れている。全体的に荷動きは悪く価格、量ともに厳しい局面に入っている。
石川	A	新型コロナウイルス感染拡大の影響で世界はばたばたである。回復はいずれするものの時期は全く不明。オリンピックも1年延期になったが、年末まで続けばもう1年延期もありうる。需要も全く同様で静観するしかない。但し、公共工事だけは続くのでしっかり喰らい付いて取りまくるしかない。
	B	石川県も早期に緊急事態宣言が発令され、商売の雰囲気非常に緊迫している。
富山	A	土木向けの配筋、配管は横ばい。住宅向けの配筋、配管は1～2割減。鉄骨向けの鋼材は2～4割減。建機、産機向け鋼材は3～5割減。今年の夏から秋口に取り掛かりはじめる物件の契約に見送りのケースが散見される。オリンピック開催延期による前倒し、後倒しが始まった。
	B	2020年度下期計画予定物件の延期や中止が懸念される。

岐阜	A	現状でもコロナウイルス感染拡大の影響は当然出ているが、4～5月頃が特に止まりそうである。工作機械向けは30%稼働のユーザーもあり、部品が中国から入らず組立てのできない住宅設備もあり大変である。中国が早く正常に戻り、通常どおり、輸入されてくるといふ噂もある。情報がたくさんあり、どれが本当なのか選択能力が必要である。
	B	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、ゴールデンウィークも前倒しで長く休まれる企業も出てきている。感染予防対策を十分に行い行動するしかない。
大阪	A	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、中国より住宅部品の納期遅れが顕著化してきたため、建売住宅の販売、引渡し、着工の目処が立たなくなった。着工の延期、キャンセルが目立ってきており先行き懸念される。一方でハイテンションボルトの供給が戻り、一部遅れていた物件や止まったと思われた物件の着工はあるが、新規物件は全般的に縮小傾向が目立っている。
	B	新型コロナウイルス感染拡大の緊急事態宣言が発令されており、しばらく終息の兆しがない。今後、工事の延期が出てきて、新規物件は様子見になるだろう。
	C	緊急事態宣言発令の影響が読めないが、かなり出てくると思われる。
兵庫		昨今の仕事量の減少が新型コロナウイルスの影響なのか、従来からの鉄鋼不況なのか区別がつかない。
岡山		すべての商品で、前年を下回っている。新型コロナウイルスの影響が、今後どのように出てくるか心配である。緊急事態宣言がどうなるのか、その時、通常営業してよいのか判断に迷う。
香川		今年度の需要はもともと減少とされていたところへ今回のコロナウイルスの影響が広がり、一層の需要減マインドの低下になっている。土木関連も年度末でほぼ動かず先が見えない状況である。早く収束してほしい。
福岡		建築関連のオリンピック需要の終了、ボルト入手難による受注量抑制などの要因で需要減退。他シャーも同様に稼働は低下している状況で在庫過多による買い控えとスクラップ市況の下落もあり、厚板、中板の出荷は減少傾向にある。橋梁関連は比較的堅調に推移していたが、足元の加工量は減少しており、端境期に入っている状況。造船は新造受注不振で、手持ち工事は2年を割り込み、建造ピッチダウン実施により加工量は減少している。自動車、建機関連は新型コロナウイルスの影響もあり、生産調整および操業停止している状況で需要は急減している。
北九州		業況は変わらず、荷動き低調。某電炉メーカーの価格発表後も相場はジリ安が続く。